

～事業者のみなさまへ～

津山市 電子契約操作マニュアル

目次

電子契約について..... 3

- 電子契約とは

契約締結の流れ..... 5

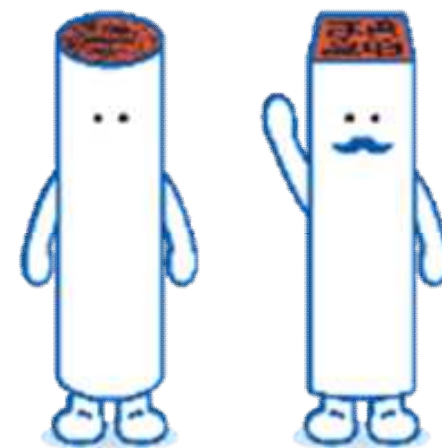
- 契約締結の流れ
- 署名時の推奨環境

困ったときは..... 10

- アクセスコード入力画面が出てきたら
- 署名者変更画面が出てきたら
- 文書内に入力枠のようなものが表示されたら
- 複数の文書がある場合

ご参考..... 15

- システムのセキュリティ
- 印紙税について
- 電子契約サービス提供事業者紹介
- お問い合わせ



電子契約について

電子契約とは

従来「紙+押印」で締結していた契約書に代わり

「電子文書(PDF)+電子署名」で締結する契約です

	紙の契約	電子契約
形式	紙の書面	電子データ(PDF)
押印	印鑑 or サイン	電子署名
送付	郵送・持参	インターネット通信
印紙	必要	不要



印刷や製本、送付が不要 **最短数分で契約締結**

契約締結の流れ

契約締結の流れ

1、署名依頼メールが届きます

メール件名「●●●様より▲▲▲への署名依頼が届いています」

メール差出人「電子印鑑GMOサイン <noreply@gmosign.com>」

操作手順

- 1 メール内の電子署名URLをクリックします
- 2 ブラウザ上に、文書の内容が表示されます

アクセスコード入力

アクセスコードがご不明な場合は、相手先までご連絡ください。

アクセスコード ●●●●●●●●



次へ

アクセスコード入力画面が開く場合

署名依頼元へアクセスコードを確認し、アクセスコードを入力してください

契約締結の流れ

2、文書を確認して署名します



操作手順

- 1 文書内容を確認します
- 2 文書左側のメニュー下部の【完了する】をクリックします
- 3 【完了する】をクリックするとメッセージが表示されますので、問題なければ【署名手続きを完了する】をクリックして署名完了です

当市の電子契約では、全て「印影のない署名(不可視署名)」を採用しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

“不可視署名”とは、電子書面上に印影が表示されない形態での電子署名になりますが、契約の法的有効性には問題ありませんのでご安心ください。

契約締結の流れ

3、署名済文書のご案内が届きます

全ての署名者(2社間契約の場合＝甲乙 など)の署名完了後、署名済のPDFファイルのダウンロードURLがメールが届きます。

メール件名「電子署名完了のお知らせ」

メール差出元「電子印鑑GMOサイン <noreply@gmosign.com>」

メール配信日時より14日以内にURLより文書をダウンロードし、保管ください。

署名時の推奨環境

以下のオペレーティングシステム、ウェブブラウザのご利用をおすすめします

Windows

- Windows 10 以上
- Chrome 最新版
- Internet Explorer 最新版
- Firefox 最新版
- Edge(※Chromium版)最新版

Android

- Android 8.0 以上
- Chrome 最新版

※Galaxyブラウザは対応外となります。

Macintosh

- MacOS 10.15 以上
- Safari 最新版
- Chrome 最新版

iPhone / iPad

- iOS 11 以上 (iPhone8以降の端末)
- iPadOS 14 以上
- Safari 最新版
- Chrome 最新版

困ったときは

アクセスコード入力画面が出てきたら

アクセスコードについて

無関係な第三者による文書の閲覧を防止するためアクセスコード入力画面が表示される場合があります。

The screenshot shows a web form titled "アクセスコード入力" (Access Code Input). Below the title is a note: "アクセスコードがご不明な場合は、相手先までご連絡ください。" (If you are unsure of the access code, please contact the other party). The form contains a text input field labeled "アクセスコード" (Access Code) with a toggle icon on the right. A red box highlights the input field, with a red circle containing the number "1" pointing to it. Below the input field is a blue button labeled "次へ" (Next). A red box highlights the button, with a red circle containing the number "2" pointing to it.

操作手順

- 1 アクセスコードを入力します
- 2 【次へ】ボタンをクリックします

アクセスコードがわからない場合

アクセスコードは送信元から別途案内されるため、署名依頼メールには記載されておりません。

入力するアクセスコードがわからない場合は、当市の担当部署へご確認くださいませようお願いいたします。

署名者変更の画面が出てきたら

署名者変更について

当市が署名者変更許可の設定で署名を依頼すると署名者変更画面が表示されます。

署名依頼を受け取った方が押印権限を持たない場合、

組織内のしかるべき押印権限者へ署名者を変更することができます。

署名者設定

署名を他の人に依頼する場合、転送先を入力してください。

自分で署名する

他の人に依頼する

署名者名

氏名

連絡先

メールアドレス

署名者へのコメント

コメント

「封筒名：製品管理システム開発発注」を見る

次へ

自分が署名する場合

- 1 【自分で署名する】を選択します
- 2 【次へ】ボタンをクリックします

署名者を変更する場合

- 1 【他の人に依頼する】を選択します
- 2 氏名欄とメールアドレス欄に署名者となる方の情報を入力します
- 3 【次へ】ボタンをクリックします

※新たな署名用URLが発行され、入力したメールアドレス宛に改めて署名依頼メールが送信されます

文書の中身を確認したい場合

【●●(文書名)を見る】をクリックすると、文書の中身を確認できます。

文書内に入力枠のようなものが表示されたら

フリーテキストエリアについて

文書内に追記入力するための入力枠(フリーテキストエリア)が設定されている場合があります。
文書内に下図のような入力枠やダイアログが表示された場合は入力枠に文字をご入力いただき、署名を行ってください。



操作手順

- 1 入力枠をクリックし必要情報を入力します
- 2 【入力を完了する】ボタンをクリックします

署名ボタンがクリックできない場合

必須の入力枠(フリーテキストエリア)に何も文字が入力されていないと署名することはできません。

複数の文書がある場合

複数の文書がある場合、文書表示枠の上部のタブをクリックすることで文書を選択することが可能です



ご参考

システムのセキュリティ



ファイル暗号化

GMOサインでは1つ1つの契約データごとに暗号化して保管しています。



通信の暗号化

通信を暗号化することで、盗み見や改ざんを防止しています。



Hardware Security Moduleによる署名鍵保管

電子契約に利用するお客さまの署名鍵は、Hardware Security Moduleの堅牢な環境で生成・保管しており、不正利用を防いでいます。



セキュリティ診断

外部のセキュリティ専門業者によるセキュリティ診断を行っています。



WAF (Web Application Firewall)

不正な攻撃からもシステムを保護しています。



データバックアップ

全ての契約データを日次でバックアップを取っています。



ISMS27001

2006年11月にISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の国際規格「ISO/IEC27001:2013」並びに「JIS Q 27001:2014」を取得しています。

印紙税について

印紙税法第2条は、課税対象となる「**文書**には、…印紙税を課する。」と規定しています。

この「**文書**」に電子契約が該当するかが問題となりますが

内閣総理大臣による答弁および国税庁への照会への回答において

電子文書には印紙税が課税されないと明言されています。

※内閣参質162第9号 平成17年3月15日

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/syuisyo/162/touh/t162009.htm>

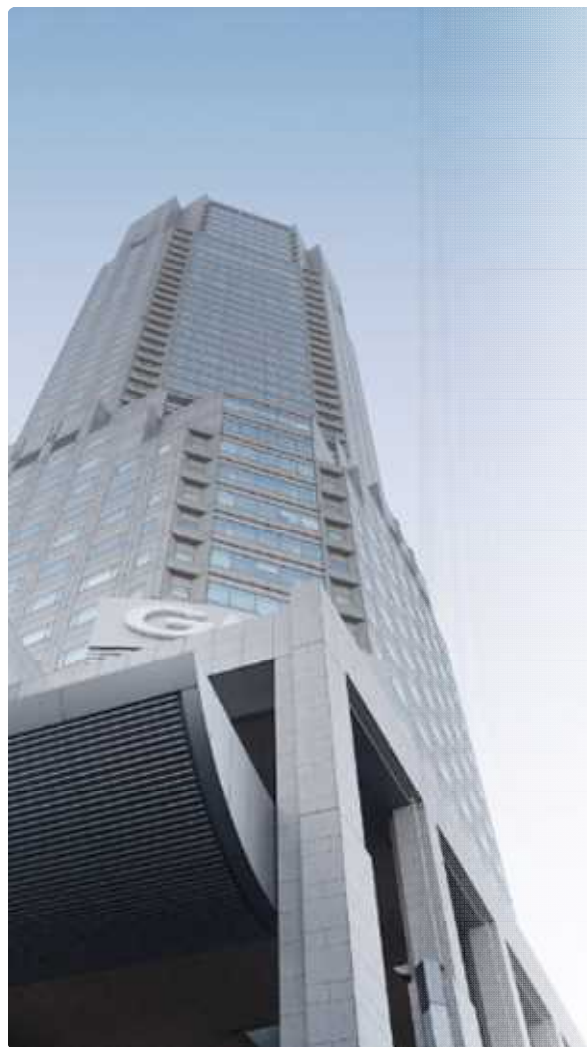
「事務処理の機械化や電子商取引の進展等により、これまで専ら文書により作成されてきたものが電磁的記録により作成されるいわゆるペーパーレス化が進展しつつあるが、**文書課税であるにおいては、電磁的記録により作成されたものについて課税されない**」

※国税庁ウェブサイト 照会事項への回答

https://www.nta.go.jp/about/organization/fukuoka/bunshokaito/inshi_sonota/081024/02.htm

「注文請書の現物の交付がなされない以上、たとえ**注文請書を電磁的記録に変換した媒体**を電子メールで送信したとしても、ファクシミリ通信により送信したものと同様に、課税文書を作成したことにはならないから、**印紙税の課税原因は発生しない**」

電子契約サービス提供事業者紹介



GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

本社所在地	東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー
事業内容	クラウドホスティング及びセキュリティサービスを中核とした 各種インターネットソリューションの開発・運用
代表者	青山満
設立	1993年12月
資本金	9億1,690万円(2019年12月)
従業員数	社員932名(2019年12月)
株式	東京証券取引所第一部上場(STOCK CODE 3788)
加盟団体(抜粋)	日本ネットワークセキュリティ協会 トラストサービス推進フォーラム デジタルトラスト協議会



クラウド・ホスティング、セキュリティ事業をはじめ、
幅広いラインナップでお客さまのビジネスを支えています。

クラウド・ホスティング事業

- 販売実績24年
- ITインフラ提供実績 国内最大級11万社以上

セキュリティ・電子認証事業

- 電子証明書発行実績累計 2,500万枚以上
- SSLサーバ証明書発行実績 440万枚以上
- 国内シェアNo.1 / 海外シェアNo.3



上記は事業者より提供のあった企業情報を記載しているものであり、
津山市が同社の利用を推奨するといったものではありません。

お問い合わせ

・津山市電子契約に関すること

総務部契約監理室

電話 0868-32-2019

FAX 0868-32-2150

メール keiyaku@city.tsuyama.lg.jp

津山市公式ホームページ

・電子契約の運用開始について

・電子契約サービス「GMOサイン」の詳細に関すること

＼最新情報をお届け！ 電子印鑑GMOサインのSNSアカウント／



@GMOSign_JP

https://twitter.com/GMOSign_JP



@GMOSign

<https://www.facebook.com/GMOSign/>